# 第１回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　議事録

（要点筆記）

●日　　時：令和 6 年 5 月 28 日(火)　14 時から 16 時まで

●場　　所：熊谷市立文化センター文化会館　第一練習室

●次　　第：1. はじめに、開会
2. 委員紹介、会長・副会長の選任
3. 議事　(1)協議会の設立趣旨・規約(案)
(2)情報共有
(3)質疑・意見交換　かわまちづくりの基本方針について

●出席者：（出席委員）田中規夫会長、山下克己副会長、野口幸雄委員、大澤重明委員、
赤沼昇委員、野口一都委員、小川義人委員、高橋美香委員、
大﨑幸恵委員、須永伊知郎委員、栗原堯委員
（欠席委員）岡部聡史委員(代理出席：宮崎誠)
（事務局）熊谷市　建設部河川課、都市整備部公園緑地課、
産業振興部商業観光課、総合政策部スポーツタウン推進課
（オブザーバー）荒川上流河川事務所　流域治水課、河川環境課
徳島大学客員教授　澤田俊明

●資　料：次第
委員名簿/座席表
資料 1　協議会について（設立趣旨、規約(案)）
資料 2　情報共有　熊谷市荒川かわまちづくりについて
資料 3　今後の進め方について（スケジュール）

| | |
|---|---|
| **1. はじめに、開会** | |
| 事務局 | ・開会の挨拶。 |
| **2. 委員紹介、会長・副会長の選任** | |
| 事務局 | ・委員の紹介。<br>・田中委員を会長に、山下委員を副会長に選任することを提案し、全会一致で選任された。 |
| **3. 議事　(1)協議会の設立趣旨・規約(案)** | |
| 事務局 | ・資料 1 をもとに、協議会の設立趣旨・規約（案）を説明し、内容について委員に承認された。 |
| **(2)情報共有** | |
| 事務局<br>事務局 | ・資料 2 を基に、1)計画の背景、2)地域ニーズについて説明した。<br>・資料 2 を基に、3)かわまちづくりの基本方針(事務局案)と論点、4)協議会とワークショップの検討プロセスについて説明した。 |
| **(3)質疑・意見交換** | |
| 【質問-①】<br>委員<br>事務局<br>会長<br>事務局 | <br>・体育館の案件もあるので想定が難しいと思うが、何年くらいかけてまちづくりを進めていくのか。<br>・資料 3 に記載しているように、令和 7 年 8 月登録を目指して進めている。整備内容によって多少前後するが、概ね 5 年以内に整備されている事例が多い。<br>・当面の範囲と将来範囲があるが、5 年以内の整備というのは当面の範囲の整備で間違いないか。<br>・間違いない。 |
| 【質問-②】<br>委員<br>事務局 | <br>・現状の方針が実現した場合、現在と比べて、どのような範囲、世代、目的など、今は利用していない（できない）利用者が増えると想定できるか。また、今利用している人はどうなるのか。<br>・詳細な整備内容は今後のワークショップや協議会を通して決定する。ヒアリングの結果では、家族やお年寄り、子供が楽しめる施設のニーズが高い。 |
| 【質問-③】<br>委員<br>事務局<br>会長<br>事務局 | <br>・ワークショップの対象年齢の範囲はどうなっているか。<br>・年齢制限は設けない。<br>・家族やお年寄り、子供のニーズが高いことから、その世代が参加できるよう今後調整することで間違いないか。<br>・間違いない。 |
| 【質問-④】<br>委員 | <br>・河川敷という制約のある空間に、日陰を作るための植栽や休憩用ベンチの |

| | |
|---|---|
| | 設置は可能か。現状、既存の植栽の下にグラウンドゴルフをしているお年寄りが集まっている姿が見られる。 |
| 事務局 | ・休憩施設が欲しいという意見が多くいただいている。植栽やベンチ、四阿等、どのような手法にするかについては今後協議会やワークショップで検討する。 |
| 会長 | ・河川敷であるため、植栽等を設置可能な場所と不可能な場所があるが、手法やルールを決めて決定していく必要がある。 |
| 【質問-⑤】 | |
| 委員 | ・取り組みたいことの優先順位は決まっているか。 |
| 事務局 | ・現時点では優先順位は決まっていない。今後の協議会やワークショップを通して、限られたスペースで何を行うかについて決定していきたい。 |
| 【論点 1-①】 | |
| 委員 | ・現状、下流区間の川と護岸の間が整備されていない。釣りや涼などの水辺の魅力の充実をしてほしい。 |
| 会長 | ・川が護岸に迫っているところは人が近づくのは危険であり、現状をどうするか検討する必要がある。 |
| 【論点 1-②】 | |
| 委員 | ・方針 1-3 自然環境・風景についての具体策として、荒川緑地の下流側の坂路周辺の自然再生整備が望ましい。「荒川河川敷の保全と利用のあり方」において、計画エリアは利用ブロック（8 割はスポーツ等で利用し、2 割は自然再生を含めて保全する）に該当するが、荒川緑地の下流側の坂路周辺は保全エリアとして草刈りのみがされており、ふさわしい自然再生整備が行われていない現状である。以前、荒川緑地拡張時に熊谷市公園緑地課から相談を受けていたが、現状は変わっていないため、かわまちづくり支援制度に「自然再生」が加わったことも踏まえ、本かわまちづくり計画をきっかけに未整備区間で自然再生に取り組み、地域住民や子供が自然に触れあう場所として活用するのが良いのではないか。 |
| 【論点 1-③】 | |
| 委員 | ・新市民体育館は 5 年以内に完成することが難しそうであるが、駐車場整備などといった荒川公園周辺再整備計画との連携の具体案を示しながら進めてほしい。 |
| 事務局 | ・新市民体育館の建て替えや熊谷駅南口再整備事業などの関連計画については、担当課と情報共有を行っている。 |
| 会長 | ・いただいた意見を整備ができるかどうかも踏まえ、担当課と情報共有するということで問題ないか。 |
| 事務局 | ・問題ない。かわまちづくり計画だけが先に進まないよう調整する。 |

| | |
|---|---|
| 【論点 1-④】 | |
| 委員 | ・桜木小学校周辺は、歩行者、自転車、車の動線が重なり、いつ事故が起きてもおかしくない危険な状態である。一方でキジが飛んでいるような場所でもある。そのため、活動ごとの動線を整理し、皆が安心安全に利用できるようになると良い。 |
| 会長 | ・魅力が増え、いろいろな目的の人が集まると、この問題はさらに顕在化していく。この問題についてワークショップで議論を進めるということで問題ないか。 |
| 事務局 | ・問題ない。安全・安心についての意見は多くいただいている。 |
| 【論点 2-①】 | |
| 委員 | ・赤枠のコアエリアとオレンジ枠の将来活用エリアがあるが、オレンジ枠の将来活用エリアはどこまで広がっているのか。 |
| 事務局 | ・かわまちづくり計画では主に河川敷の整備であるが、動線や安全・安心の観点から、周りの影響範囲として赤枠のコアエリアとしている。 |
| 【自由意見-①】 | |
| 委員 | ・荒川の水害に関する対策について、川辺だけでなく避難施設も含めて検討してほしい。 |
| 事務局 | ・新市民体育館の事業の方で、避難所や避難施設をどう組み込むかを検討している。 |
| 【自由意見-②】 | |
| 委員 | ・市内で進めている道の駅や新市民体育館事業など、事業の共通イメージはあるか。熊谷市のブランディングは何か。 |
| 事務局 | ・道の駅事業等は別部署の事業となるため、次回の協議会で回答させていただく。 |
| 副会長 | ・市全体の計画（熊谷市総合振興計画等）の中で各事業を進めている。 |
| 副会長 | ・現状の利用状況を教えていただきたい。 |
| 事務局 | ・上流から、ソフトボール場ではソフトボールを、運動広場では熊谷女子高校がラクロスを、自由広場ではサッカーを、ラグビー場ではラグビーをしている様子が平日も休日も見られる。利用者の多い限られた場所で、敷地の整理ができるかについては関係団体を含めて調整し、現利用形態をできるだけ維持しながら進めていきたい。 |
| 事務局 | ・事務局より、その他頂いた意見を読み上げにより紹介。 |
| 会長 | ・様々な視点から頂いたご意見を事務局で整理したうえで、今後のワークショップの議論に活かしてほしい。 |
| 副会長 | ・限られたエリアで課題もあるが、ワークショップの結果を踏まえた事務局案について、次回の協議会で検討いただきたい。 |

| **4. 今後の進め方、終わりに、閉会** | |
|---|---|
| 事務局 | ・資料 3 を基に、今後の進め方（スケジュール）について説明した。<br>・熊谷市で行ったアンケート調査結果について、まとめたものを今後の協議会で配布する予定である。 |
| オブザーバー | ・閉会の挨拶。 |
| 副市長 | ・閉会の挨拶。<br><br>以上 |

# 第1回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　意見交換まとめ

●質問

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局回答 |
|---|---|---|---|
| スケジュール感 | かわまちづくりの計画作成から整備着工、供用開始までの全体スケジュール感を教えてください。 | | |
| | 期間は何時頃かかるのか。 | | |
| | 体育館の案件もあるので想定が難しいと思いますが何年ぐらいかけてまちづくりを進めていくのでしょうか。 | | |
| | 計画の策定期限等はあるのか。 | | R7年8月登録予定。 |
| | | | 5年以内に整備するイメージ。 |
| 施設整備 | 暑い街熊谷、日影を作るための植栽は可能か。休憩用のベンチの設置は可能か？ | 大木等は日影。お年寄りも集まる。グランドゴルフ。 | ベンチ、あずま家等、植栽等今後WS等で協議予定。 |
| | | お年寄りの方がグランドゴルフ等で利用する際に日陰に集まるため陰をふやしてほしい。 | |
| 優先順位 | 取り組みたいことの優先順位は？ | | 優先順位は考えていない。スペースは限られている。今後検討予定。 |
| ワークショップの対策年齢 | ワークショップの対象年齢の範囲はどうなっていますか？ | | 年齢制限は考えていないが詳細は今後検討。 |
| | | | 家族やお年寄り、子供が楽しめる施設としていく。 |
| どうしたいのか？ | もっと簡単に具体的にどうしたいのか。 | | |
| 利用者増の想定？ | 現状の方針が実現した場合、現在と比べて（どのような範囲、世代、目的など）今は利用していない（できない）利用者が増えると想定できるでしょうか。 | | 家族、お年寄、子供を対象とした施設。 |

●論点１：方針

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局・会長 |
|---|---|---|---|
| 魅力づくり | 時間軸として、魅力を積極的につなげているかというチェックはされているか。 | | |
| | オンリーワン、ナンバーワンとしての魅力づくり。 | | |
| | 水辺の魅力の充実。　例：釣り・涼 | 下流区間は川と護岸の間が整備されていない。 | 深掘れ箇所は危険な箇所（護岸）。 |
| 荒川公園再整備計画連携の具体策 | 荒川公園間編再整備計画との連携の具体策がほしい。 | 連携を考えると体育館は5年以降。<br>例えば駐車場の整備など具体の項目を示しながら。 | 関連の担当部署と情報共有しながら進めている。 |
| | | | 南口エリアの再開発事業についても他の課と連携して進めている。 |
| | 市民体育館周辺整備との関わり方連携等。 | | |
| | 南口の開発、体育館の建設と一体となってまちづくりを進めることで利便性が増す。連携が必要。 | | |
| 大切なエリア | 1-2方針、1-3自然環境、風景の具体策について荒川緑地の範囲内において「かわまちづくり事業」の一環として自然再生整備が望ましいエリアがあります。 | 荒川緑地の東側、下流側の岐路について拡張時に市から相談を受け「荒川河川敷の保全と利用のあり方」の中で利用ブロックとしているが2割は自然を保全する。とあるが現状は活用されていない。 | |
| | | 4月よりかわまちづくりの中でも環境の植生の再生等、荒川の自然とふれあう場としても有効。 | |
| | | 未整備の区間の自然保全、再生（在来の草はらの再生）。 | |
| | | 子供達の自然触合の場。 | |
| 連携の視点 | 現状である程度は魅力として存在するものとこの取り組みで「創生」されるものが区別できると良い。 | | |
| 参考事例 | 参考事例はわかりやすい。ここに熊谷の強みとニーズをのせていきたい。 | | |
| 動線 | 活動ごとの動線を整理したい。今、歩行、自転車、車両の動線が重なり危険な状態。 | いつ事故が起きてもおかしくない状況。<br>一方で良い環境（キジがいる）。 | ワークショップ等で議論していきたい。 |

●論点2：範囲

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局・会長 |
|---|---|---|---|
| 魅力づくり | 歴史に関する魅力の発信。<br>動線はどのようになっているか。<br>今回は範囲まででしょうか。 | | |
| 住宅街範囲？ | 住宅街を範囲に含めた理由は？ | | |
| | 対象エリアの所有又は管理者は？ | | |
| | 駅から歩いて（体育館周辺）いける範囲を設定すると定住促進につながるのでは。 | | |
| 段階的整備 | 将来活用エリアはどのくらいの先の将来を見すえているのか。 | コアエリアはどこか？<br>赤とオレンジの違いは何か。 | かわまちづくりは主に河川敷まわりへの影響が赤いエリア。 |
| | 段階整備としてのエリア拡大。 | | |
| 範囲の視点 | 範囲は、提外地では「荒川緑地」全体提内地では「荒川公園」・「体育館」のエリアは最低限加えるべきと思います。 | | |

●自由意見

| 項目分類 | 委員記述 | 発言記録 | 事務局・会長 |
|---|---|---|---|
| 交通・動線 | 駐車場の規模・位置。 | | |
| | 人の流れ。<br>駅から河川敷までのルート検討。 | | |
| | 車の流れ。<br>イベント開催時の渋滞対策。 | | |
| 環境・自然 | 自然環境を学ぶという点において手軽に安全に学べるポイントが少ないので整備が必要と考えます。 | | |
| | 暑さについての対策は必要。夏場は20分もいられないです。 | | |
| 魅力づくり | 桜祭り、花火、以外に河川敷に来る機会がないのでイベントやスポーツ以外に訪れたくなる事があると人が増えると思います。 | | |
| | 荒川に水車があったのをはじめて知りました。復活したらたのしそうです。 | | |
| 施設整備 | 北本市高尾地区のかわまちづくり水辺公口、舟運を模した水路をこどもたちの水あそび場にしている（参考まで）。 | | |
| | 河川敷内に付いては遊具などのセットを置くのか。 | | |
| | 河川敷にある車いすトイレは（他の地域）防犯の観点からカギがかかっている事が多いので、何か対策を。 | | |
| | 参考事例　千代田地区のようなスケートボードパークの整備は可能か？ | | |
| | 現状の利用状況は？ | | 計画範囲（高水敷）はスポーツ利用が多くされており、現状の利用状況を整理した上で今後の計画を進めていきたい。 |
| | | | 上流より、ソフトボール場。<br>下流ラグビー場、サッカー場。<br>平日、土日は利用者いる。<br>限られた敷地をどう整備するか。 |
| | | | 現利用形態をできるだけ維持しながら進めていきたい。 |
| | 荒川の水害に関する対策について、川辺のみでなく、避難施設も含めて検討してほしい。 | | 体育館計画で避難施設について検討中である。 |
| 計画の進め方 | 先を見通しベストの絵を持って段階的計画を。 | | |
| | 市内で進めている道の駅や体育館立て替事業の共通イメージはありますか？熊谷市のブランディングは。 | | 道の駅についての事業も市が全体計画の中で進めている。 |
| | | | 道の駅は別の計画の中で進めることになると理解頂きたい。 |
| | これから熊谷で育っていく子供たちのニーズも収集していくとよいのでは。 | | |
| | 河川敷までの動線も土手を下った所もデコボコ段差があったり、駐車場も大きな穴だらけだったので車いす、ベビーカー、足の不自由な人が使いにくいので出来ることから改善してほしい。 | | |